

# 医療福祉科学研究所、リハビリ技術を海外展開

## 急速に高齢化の進むタイで事業化を検討

国際協力機構（JICA）は1月26日、中小企業海外展開支援事業～基礎調査～において、有限会社医療福祉科学研究所（北海道美瑛町／進藤順哉 代表取締役／Tel. 0166-65-0101）が提案する「タイ王国 飲み込み機能と運動機能の回復に向けたリハビリテーション事業に関する基礎調査」を採択しました。

高齢化が急速に進むタイでは、高齢者のリハビリのための器具等の不足に加え、理学療法士や作業療法士の人材不足も深刻な課題になっています。JICAでは2013年から「要援護高齢者等のための介護サービス開発プロジェクト」を実施し、高齢者介護のための政策提言やパイロットプロジェクトを行うとともに、人材養成プログラムを開発しています。

（有）医療福祉科学研究所の進藤社長は、旭川リハビリテーション病院の理事長として地域リハビリ医療の中核を担ってきた実績とノウハウを基に、タイで死亡原因の3位となっている高齢者の下気道感染（誤飲性の肺炎等）を予防する飲み込み機能と、健康寿命の延伸のための運動機能の回復を目指したリハビリ事業を展開するとともに、関連人材の育成を行うことを検討しています。

今回の「基礎調査」では、タイ保健省や医療機関、関連企業等を訪問し、現地ニーズを確認するとともに、現地会社の設立に向けた基礎的な情報収集を行います。

本調査は、わが国の中小企業を対象とした「基礎調査」として実施されます。「基礎調査」は、優れた製品や技術を有する中小企業が、途上国に事業展開することによる開発課題解決の可能性およびODA事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と事業計画の策定を目的としています。

2016年度第2回は昨年9月に公示を行い、14件が採択されました。今後、契約交渉を経て契約締結に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：プレスリリース URL：[https://www.jica.go.jp/press/2016/20170130\\_02.html](https://www.jica.go.jp/press/2016/20170130_02.html)

【問合せ先】
JICA 北海道（札幌） 中小企業海外展開支援担当 中野
Tel：011-866-8421 E-mail：Nakano.Satoshi@jica.go.jp